

低入札価格調査の実施概要

関東地方整備局

契約名
東京国際空港際内トンネル他築造等工事

調査を実施した業者名・住所
清水・五洋特定建設工事共同企業体
代表者 清水建設(株) 土木東京支店
東京都中央区京橋二丁目16番1-10号

項目	内容
1. 当該価格により入札した理由	当該工事における施工条件並びに周辺環境に熟知しており、その条件に適合したシールド施工技術や空港工事経験を保有している。また、本支店の技術関連部署に蓄積された技術を活用し、組織的支援体制を構築するとともに、協力会社と一体となってその実力を十分に発揮できるものと考えている。また、隣接工事や同種工事での協力会社の共有や、グループ会社保有資材の効率的な活用をすることによって、品質管理・安全管理・工程管理を十分に実施できる価格を算出した上で、当該価格で入札したものである。
2. 入札金額の積算内訳	協力会社からの見積りを尊重し、協力会社の利益も考慮した価格を設定した。 共通仮設費や現場管理費については、これまでの経験上の実績で積み上げている。一般管理費については企業存続に必要な販売管理費を設定している。現場管理費、一般管理費については、直接工事費の縮減に伴い縮減が可能となった。 入札金額については、官積算を考慮し、調査基準価格を下回らない程度の価格を想定して設定した。
3. 手持工事の状況	同種工事の手持ち工事として、企業体代表者の清水建設(株)で12現場、企業体構成員の五洋建設(株)で3現場があり、これらの現場の資機材及び労務に関して現場間での効率的な運用を図ると共に、多くの同種工事専門技術者による支援が可能であり、品質の確保やトラブルを未然に防止する体制を構築出来る。
4. 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との関連	本社及び支店が15km圏内に位置しており、迅速な支援及び対応が可能。 また、グループ会社の機材・資材センターを近傍に有しており、資機材を効率的に活用することができ、緊急時も早急な対応が可能である。
5. 手持資材の状況	企業体代表者の清水建設(株)はグループ会社として多くの資材を保有しており、首都圏の建設需要が高まる時期においても、建設用仮設資材等を安定的かつ低価格で調達することが可能。
6. 資材購入先及び購入先と入札者との関係	10年以上取引がある、100%子会社の協力会社からの取引が可能である。
7. 手持機械数の状況	同種工事現場で使用していた特殊機械の転用が可能であり、調達期間の短縮やコスト縮減が可能。
8. 労務者の具体的供給見通し	協力会社は全て10年以上の取引があり、適切な施工が可能と判断した。 また、東日本大震災による復旧工事の労務者の需要も一段落している状況である。
9. 過去に施工した公共工事名及び発注者	過去5年間に於いて、国や地方公共団体等発注工事の受注実績が多数ある。
10. 建設副産物の搬出地	搬出予定地や処理体制について、適切であると判断した。
11. 経営状況等	<公表しないこととする>
12. その他の必要事項	特になし。